

子どもを加害者にしないために

1		2		3		4		6		7	
自由に使える情報通信機器を持っているか。(複数回答)		ネット上で悪口を書いたり、仲間外しをしたことがあるか。		ネット上に自分や友達の個人情報を書いたことがあるか。		家庭での決まりごと(ルール)があるか。		フィルタリングはつけているか。		勉強以外にどのぐらいの時間、ネットを使っているか。	
スマートフォン	30.1%	ある	1.7%	ある	3.3%	ある	80.6%	つけている	32.4%	1時間未満	30.0%
何らか持っている	88.9%	<p>活や心の健康が高まっている、性被害たり、被害者を中心としたこと、保護者の関心も上は、ケート」の関心です。1の割合が自分になり、内訳は低学年、高学年が四七、と高学年は、全国平均値は、スマホのみで八割を超え、ような気がし、持つのが悪いことが出来、ありません。のように人を</p> <p>で教のすい言るあ</p>									
持っていない	11.1%										
										2時間未満	33.1%
										3時間未満	21.1%
										3時間以上	15.8%

一生消えないような傷をつけていることもあるのです。(2と3は当然確認をします)

実は、学校ではこうしたネット上のトラブルにほとんど対応できません。ネット上のトラブルは学校管理下外で起きる事案が多いこともありますが、それよりも事実をもって指導にあたるべきところのその事実がわからないからです。「事実」と述べましたが、学校管理下で起きたトラブルの多くは教師の目の前で起こるわけではありませんので、複数の関係児童からの聞き取りによって、言動や行動の記憶をできるだけ詳細にほりさげた内容にすぎません。動画や録音でもない限りは本当の事実とはわかりません。当事者の納得をもって事実としているのです。ネット上のトラブルは、こうしたことに加えて秘匿性の高いネット上のやりとりも事実としてあるわけですから、専門機関である警察に委ねるしかないのです。よって、お子さんのネット上のトラブルについては、ご相談は承りますがその解決については警察に依頼していただくこととなります。学校はその解決の過程で、当事者への支援を行います。

スマホを持たせて適切に使えるように親として指導していくことは、近年の親の悩みの一つです。子どもと話し合っルールを決めたり破られたり、フィルタリングをかけたたり突破されたり、スマホの中身を点検したり隠されていたり、イタチごっこな面もあります。感情的になって子どもはスマホを捨ててしまうこともあります。

……あ、ないですか？ 私はありません。持たせた以上は便利に活用して欲しいと、親心として願わずにいられません。さらには大人として、「アンタ自身が依存しちゃあいないかい？」と自身を振り返ることも必要だなと思うのです。子どもは、いつもずっと親を見ているはずですよ。